



2020年度第1四半期 決算説明資料

2020年8月3日

I. 2020年度第1四半期決算実績

- 決算実績サマリー 4
- 連結経営成績サマリー 5
- 定常収益 6
- セグメント別内訳 7
- 連結財政状態 8
- 主要財務指標／キャッシュ・フロー 9
- セグメント情報 10-12
(受注高・受注残高/売上収益/事業利益)
- 事業利益増減分析 13
- 新型コロナウイルスの影響と状況 14

II. 2020年度業績見通し

- 業績見通しサマリー 16
- 定常収益 17
- セグメント別内訳 18

III. 補足資料 20-24

I . 2020年度第1四半期決算実績

1Q実績は、新型コロナウイルスの影響下において、前年同期に比べると低調に見えるものの、概ね期首想定通りに推移。
通期見通し達成に向けて、引き続き固定費削減等を推進する。

- 受注高は前年同期比605億円の減少（△8.1%）。
エナジードメインはGTCCと原子力が牽引し、前年同期を上回った。
- 売上収益は新型コロナウイルスの影響による物流・冷熱・ドライブシステムドメインの落ち込みが大きく、前年同期比1,413億円の減少（△15.4%）。
航空・防衛・宇宙は、民間航空機が減少したものの、防衛・宇宙は増加し、前年同期を若干上回った。
- 事業利益は713億円の赤字。そのうち、SpaceJet事業の損失（CRJ事業買収に伴って生じたのれんの減損を含む）は688億円。
- フリーキャッシュフローについては、CRJ事業買収等により前年同期を下回るが、当初想定通りに推移しており、通期見通しに変更はなし。

第1四半期決算実績 連結経営成績サマリー

(単位：億円)

	2019年度1Q (利益率)		2020年度1Q (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		7,502		6,896	△ 605	(△8.1%)
売上収益		9,193		7,780	△ 1,413	(△15.4%)
事業利益	(4.4%)	404	(△9.2%)	△ 713	△ 1,118	(△276.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.8%)	163	(△7.4%)	△ 579	△ 742	(△453.7%)
EBITDA	(7.8%)	712	(△4.8%)	△ 371	△ 1,084	(△152.1%)
フリーCF		△1,694		△3,395	△1,701	-

第1四半期決算実績 定常収益

(単位：億円)

2020年度1Q	定常収益 (利益率)	SpaceJet 投資	合計 (利益率)
受注高	6,896	-	6,896
売上収益	7,780	-	7,780
事業利益	(△0.3%) △24	△688	(△9.2%) △713
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(0.1%) 6	△585	(△7.4%) △579
EBITDA	(4.1%) 316	△688	(△4.8%) △371
フリーCF	△2,732	△662	△3,395

第1四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳

(単位：億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'19年度 1Q	'20年度 1Q	対前年度 増減	'19年度 1Q	'20年度 1Q	対前年度 増減	'19年度 1Q	'20年度 1Q	対前年度 増減
エナジー	2,315	3,171	+855	3,432	3,140	△ 291	192	3	△ 188
プラント・インフラ	1,911	1,175	△ 736	1,850	1,395	△ 454	68	△ 40	△ 109
物流・冷熱・ ドライブシステム	2,503	1,862	△ 640	2,459	1,829	△ 629	75	△ 26	△ 102
航空・防衛・宇宙	877	765	△ 112	1,521	1,551	+29	94	△ 620	△ 715
その他	△ 106	△ 78	+27	△ 69	△ 137	△ 67	△ 27	△ 29	△ 2
合計	7,502	6,896	△ 605	9,193	7,780	△ 1,413	404	△ 713	△ 1,118

当社は今年度からセグメントを一部変更しました。

「エナジー」は2019年度以前の「パワー」、「プラント・インフラ」及び「物流・冷熱・ドライブシステム」は「インダストリー & 社会基盤」と対応しています。

第1四半期決算実績 連結財政状態

(単位：億円)

	'19年度末	'20年度1Q末	対前年度末 増減
売上債権 (営業債権、契約資産)	11,880	11,270	△610
棚卸資産	7,262	8,191	+928
その他流動資産 (現金及び現金同等物)	9,242 (2,816)	9,265 (2,195)	+22 (△620)
固定資産	9,963	10,136	+173
投資等	11,508	11,866	+357
資産合計	49,856	50,729	+872
営業債務	8,240	7,173	△1,066
契約負債	8,354	8,175	△179
その他	14,378	14,420	+41
有利子負債	5,982	8,877	+2,894
資本 (うち親会社の所有者に帰属する持分)	12,900 (12,183)	12,083 (11,399)	△817 (△784)
負債・資本合計	49,856	50,729	+872

借入金 +444
 コマーシャルペーパー +2,450

配当 △251
 当期利益 △579
 その他 +46

主要財務指標

	'19年度末	'20年度 1Q末	対前年度末 増減	'20年度 見通し
自己資本比率	24.4%	22.5%	△ 1.9pt	-
有利子負債残高 (単位：億円)	5,982	8,877	+ 2,894	9,500
D/Eレシオ	0.46	0.73	+ 0.27	0.8

キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	'19年度 1Q	'20年度 1Q	増減	'20年度 見通し
営業CF	△ 1,199	△ 2,236	△ 1,036	-
投資CF	△ 494	△ 1,159	△ 664	-
フリーCF	△ 1,694	△ 3,395	△ 1,701	△ 4,000

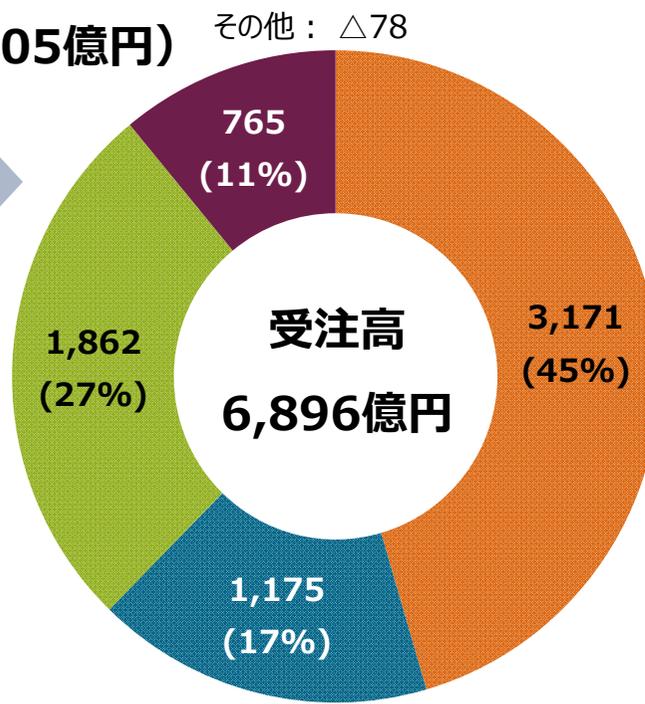
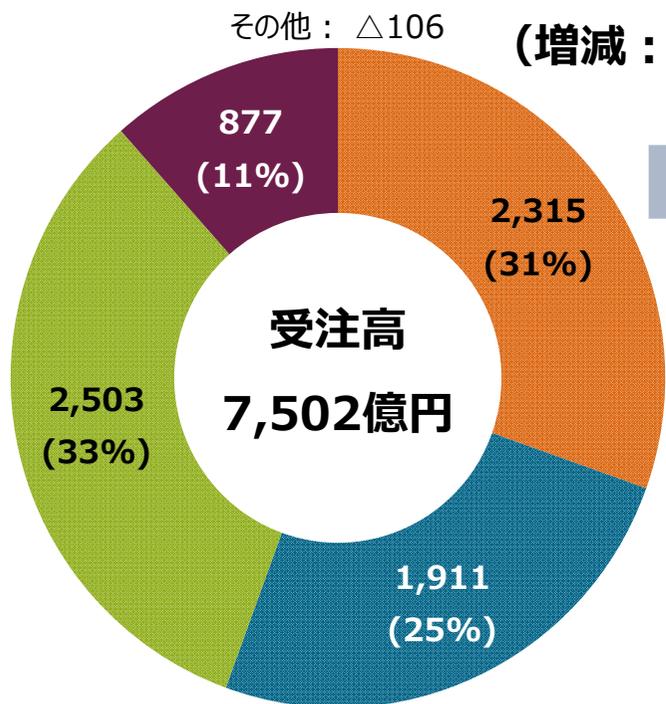
第1四半期決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>

- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙
- その他

受注高

2019年度1Q

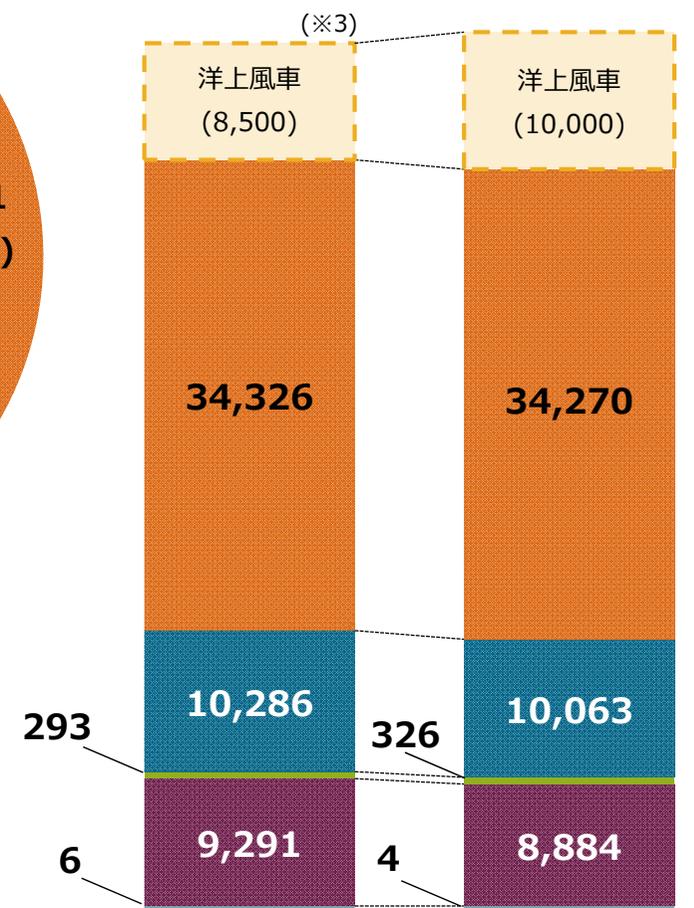
2020年度1Q



受注残高 (※2)

(増減：△655億円)

'19年度末 54,204億円
'20年度1Q末 53,549億円

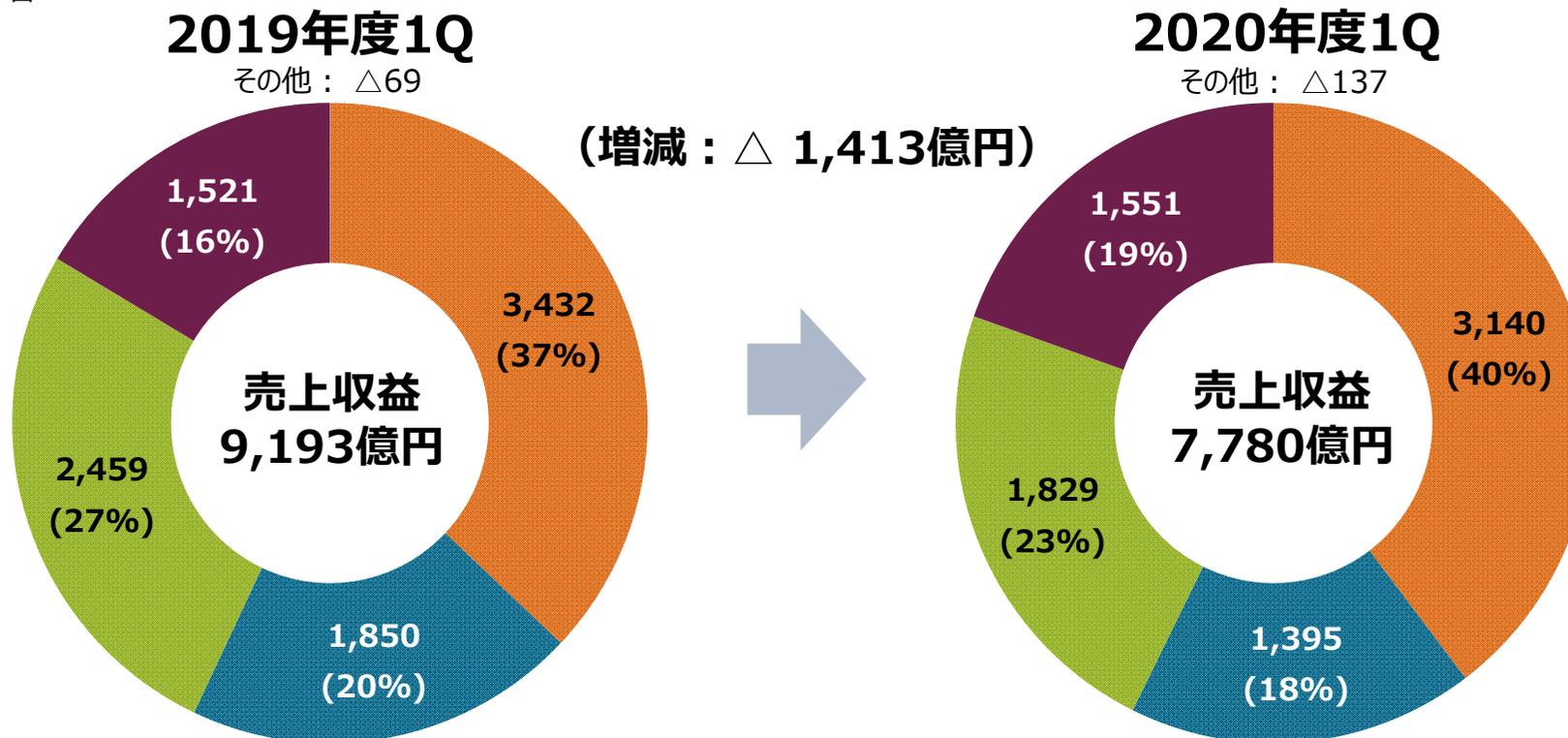


■ エナジー	増加	GTCC _(※1) 、原子力
■ プラント・インフラ	減少	製鉄機械
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	減少	ターボチャージャ、物流機器
■ 航空・防衛・宇宙	減少	民間航空機

(※1) GTCC：Gas Turbine Combined Cycle (※2)ターボチャージャ、物流機器等の量産品は含まない
(※3) 持分法適用会社(MHI Vestas Offshore Wind A/S) による事業であるため、概数を受注残高合計の外数として表示

第1四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙



■ エナジー	増収	原子力
	減収	スチームパワー、航空エンジン
■ プラント・インフラ	減収	製鉄機械、エンジニアリング、工作機械
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	減収	ターボチャージャ、物流機器、カーエアコン
■ 航空・防衛・宇宙	増収	防衛航空機・飛昇体
	減収	民間航空機

第1四半期決算実績 セグメント別 <事業利益>

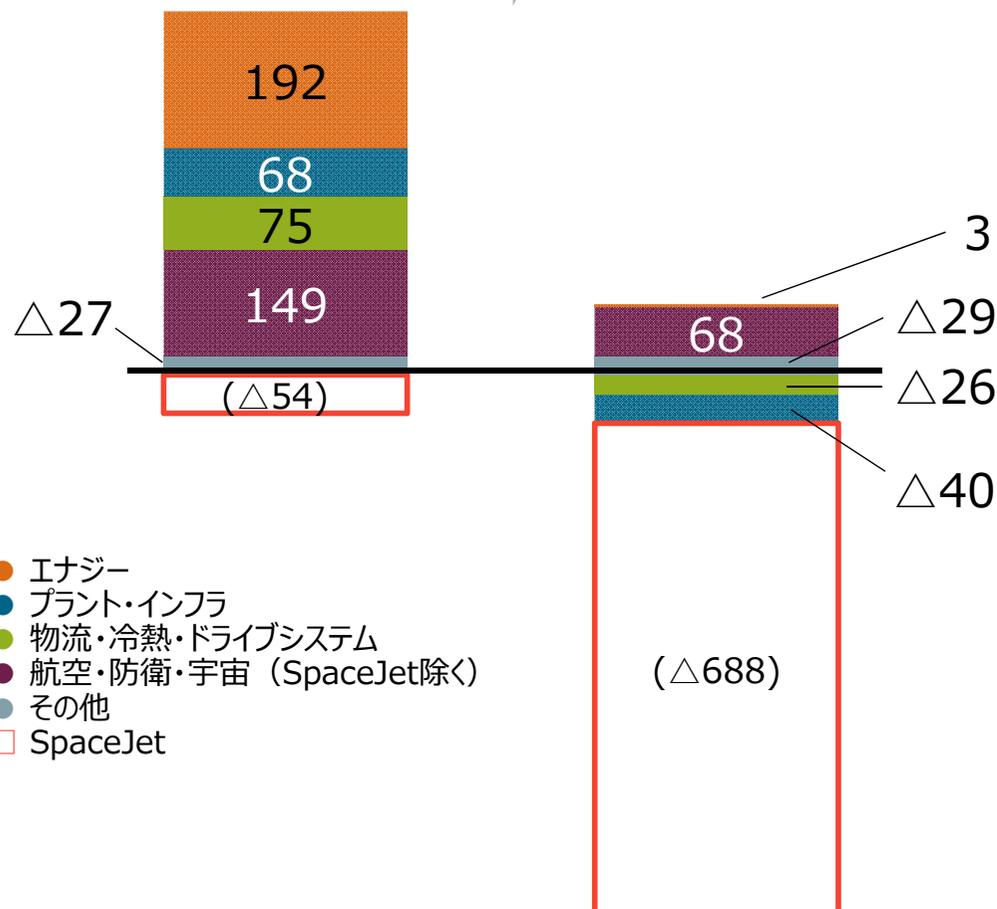
(増減 : $\Delta 1,118$ 億円)

2019年度1Q
404億円

(定常収益
459億円)

2020年度1Q
 $\Delta 713$ 億円

(定常収益
 $\Delta 24$ 億円)



- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙 (SpaceJet除く)
- その他
- SpaceJet

■ エナジー

	事業	要因
増益	原子力	売上増加 他
減益	スチームパワー	売上減少 他
	航空エンジン	

■ プラント・インフラ

減益	エンジニアリング	売上減少 他
	工作機械	

■ 物流・冷熱・ドライブシステム

減益	ターボチャージャ	売上減少 他
	物流機器	
	カーエアコン	

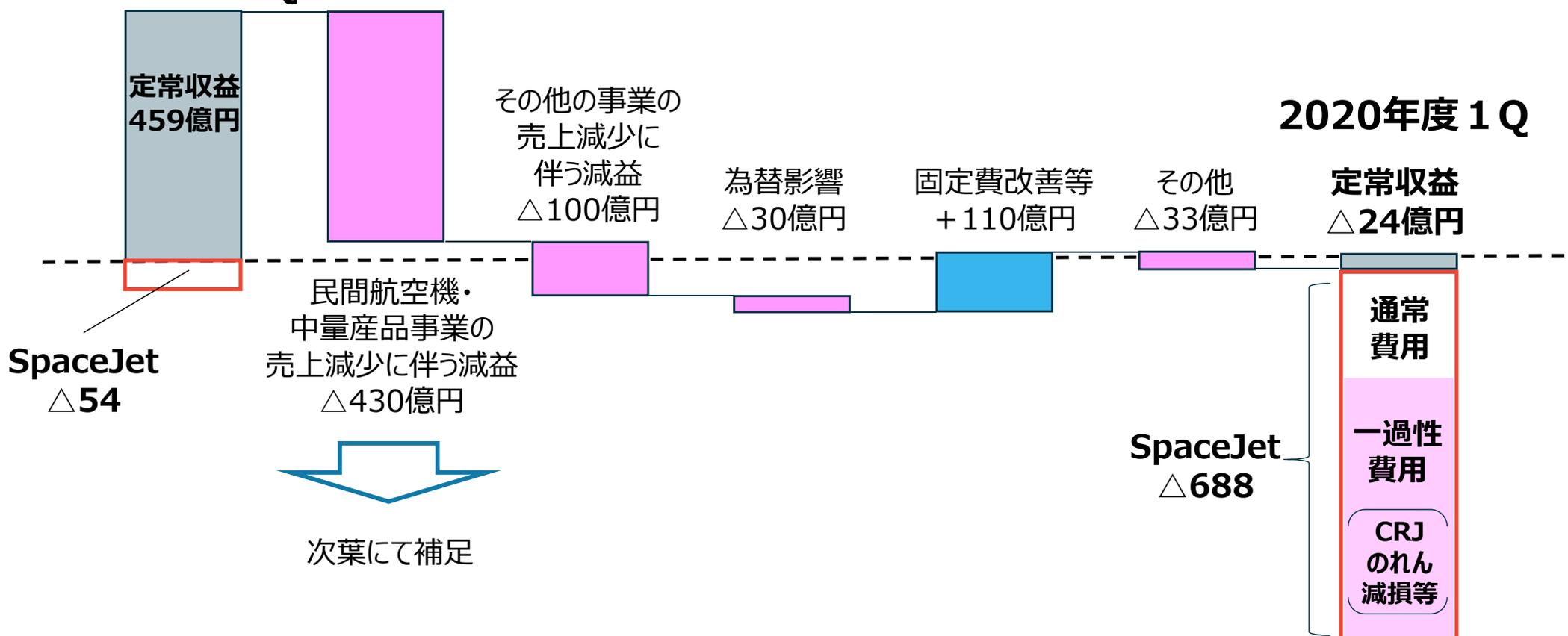
■ 航空・防衛・宇宙

増益	防衛・宇宙	売上増加 他
減益	民間航空機	売上減少 他
	SpaceJet	CRJのれん減損 他

第1四半期決算実績 事業利益増減分析

- 民間航空機事業・中量産品事業において、足元の新型コロナウイルスの影響が大きいものの、固定費削減等の緊急対策を講じて、影響最小化を図っている
- SpaceJet関連は、通常の開発費が△200億円(通期見通し△600億円)、CRJ事業買収に伴うのれん減損等の一過性要因が△500億円(通期見通し△600億円)

2019年度1Q

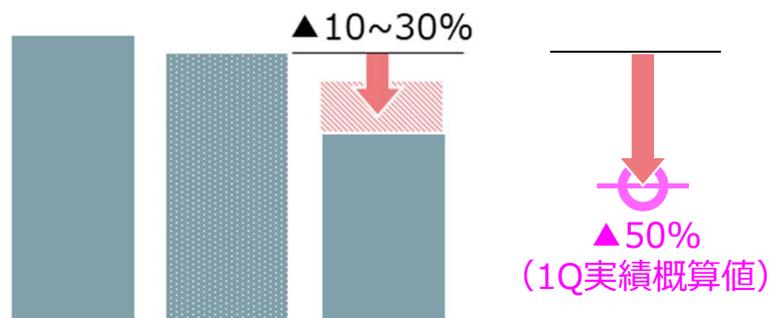


事業

FY20売上見通し

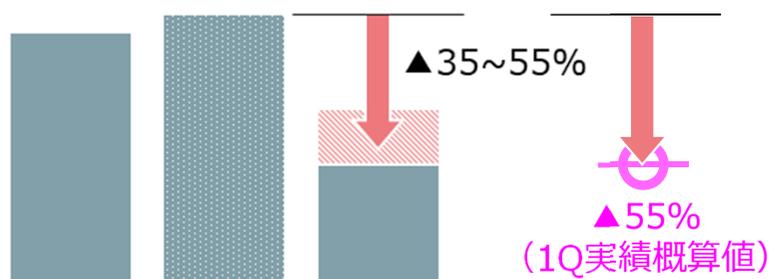
1Q末時点の状況

民間航空機 構造Tier1



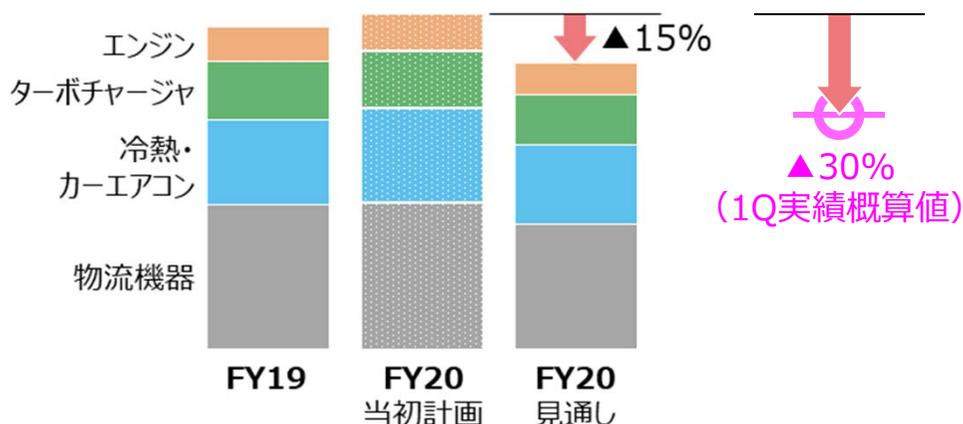
- 1Qは生産調整等を行った結果、売上収益は当初計画に対して約半減。通期では1Qがボトムと見込んでいるが、先行きの生産計画は変動リスクあり、動向を注視。

民間航空機 航空エンジン



- 1Qの売上収益は、当初計画に対して約半減。FY20見通しで想定したレンジ(当初計画比△35~55%)のボトムラインで推移。

中量産品



- 1Qの売上収益は当初計画に対して約30%減。特に、自動車関連のターボチャージャとカーエアコンの影響が大きい。4月をボトムとして回復基調にあり、FY20見通しにおける1Q想定を上回るレベルで推移。

Ⅱ. 2020年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2020年度業績見通し サマリー

前回公表値 (2020年5月11日) より変更なし

(単位: 億円)

	2019年度実績		2020年度見通し		対前年度増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高	41,686		35,000		△ 6,686 (△16.0%)	
売上収益	40,413		38,000		△ 2,413 (△6.0%)	
事業利益	(△0.7%)	△295	0		+295	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(2.2%)	871	0		△ 871	
R O E	6.6%		-		-	
EBITDA	(2.8%)	1,151	(3.7%)	1,400	+249 (+21.6%)	
フリーCF	2,129		△4,000		△6,129 -	
配当	150円 (中間75円/期末75円)		75円 (中間0円/期末75円)		【未確定外貨】 17億ドル 3億ユーロ	【前提為替レート】 1ドル = 110円 1ユーロ = 120円

2020年度業績見通し 定常収益

前回公表値 (2020年5月11日) より変更なし

(単位：億円)

2020年度見通し	定常収益 (利益率)	SpaceJet 投資	合計 (利益率)
受注高	35,000	-	35,000
売上収益	38,000	-	38,000
事業利益	(3.2%) 1,200	△1,200	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(2.4%) 900	△900	0
ROE	-	-	-
EBITDA	(6.8%) 2,600	△1,200	(3.7%) 1,400
フリーCF	△2,800	△1,200	△4,000

2020年度業績見通し セグメント別内訳

前回公表値（2020年5月11日）より変更なし

（単位：億円）

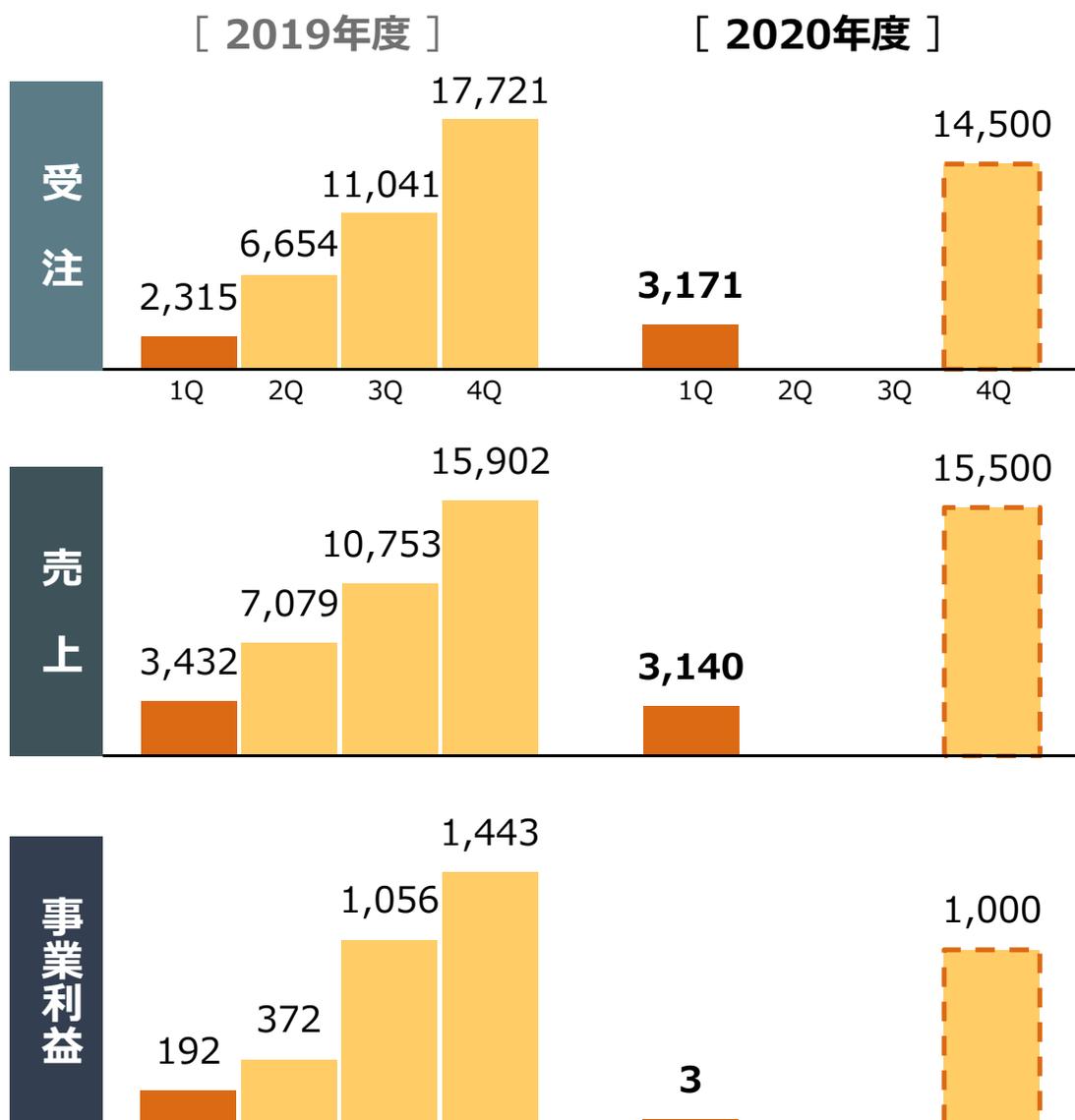
	受注高			売上収益			事業利益		
	'19年度 実績	'20年度 見通し	対前年度 増減	'19年度 実績	'20年度 見通し	対前年度 増減	'19年度 実績	'20年度 見通し	対前年度 増減
エネルギー	17,721	14,500	△ 3,221	15,902	15,500	△ 402	1,443	1,000	△ 443
プラント・インフラ	7,399	6,500	△ 899	7,929	7,500	△ 429	255	300	+44
物流・冷熱・ ドライブシステム	9,859	8,500	△ 1,359	9,901	8,500	△ 1,401	293	△ 300	△ 593
航空・防衛・宇宙	7,192	6,000	△ 1,192	7,049	7,000	△ 49	△ 2,087	△ 900	+1,187
その他	△ 485	△ 500	△ 14	△ 369	△ 500	△ 130	△ 200	△ 100	+100
合計	41,686	35,000	△ 6,686	40,413	38,000	△ 2,413	△ 295	0	+295

当社は今年度からセグメントを一部変更しました。

「エネルギー」は2019年度以前の「パワー」、「プラント・インフラ」及び「物流・冷熱・ドライブシステム」は「インダストリー & 社会基盤」と対応しています。

Ⅲ. 補足資料

(億円・各期の数値は累計)



- 航空エンジンの1Qの売上収益は、前年同期比約半減であるが、概ねFY20見通しの範囲内で推移
- 火力事業への新型コロナウイルスの影響は比較的軽微と想定していたが、1Q時点では一部の海外プロジェクトにおいて工程進捗の遅れやサービス工事の後ろ倒しが発生。2Q以降にキャッチアップする見込み

【ガスタービン受注台数・契約残台数】

2020年度1Q : 2台

	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	-	2	-	-	2	45
中小型	-	-	-	-	0	15
合計	0	2	0	0	2	60

2019年度累計 : 32台

	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	7	10	2	2	21	49
中小型	3	2	6	-	11	15
合計	10	12	8	2	32	64

2019年度1Q : 6台

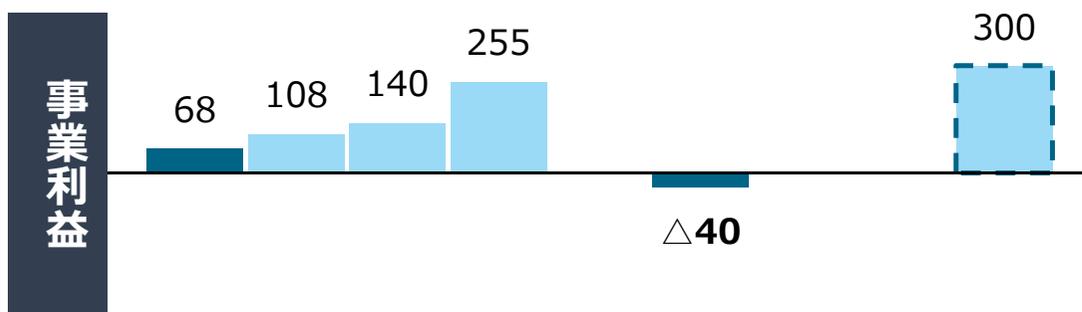
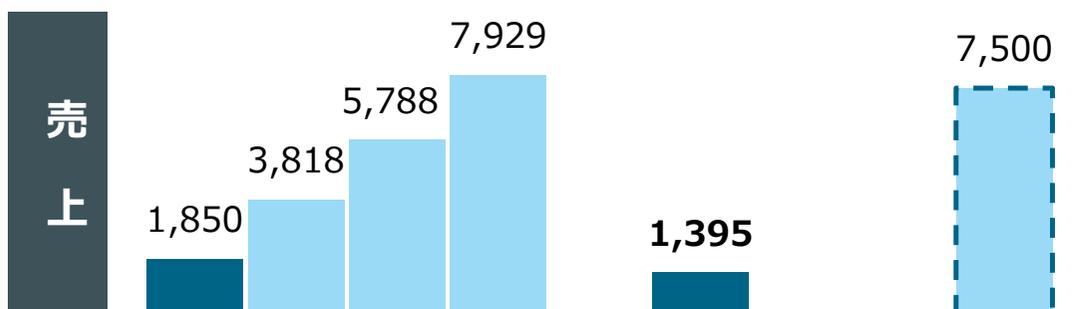
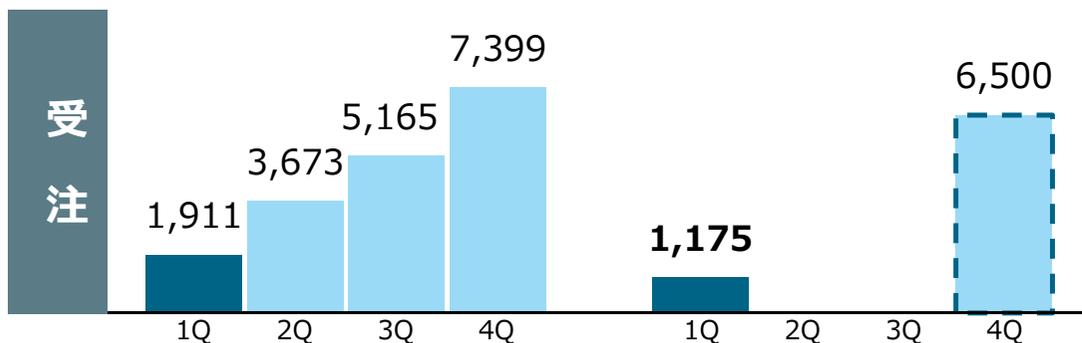
	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	-	1	2	-	3	44
中小型	3	-	-	-	3	11
合計	3	1	2	0	6	55

補足資料 第1四半期決算実績〈プラント・インフラ〉

(億円・各期の数値は累計)

[2019年度]

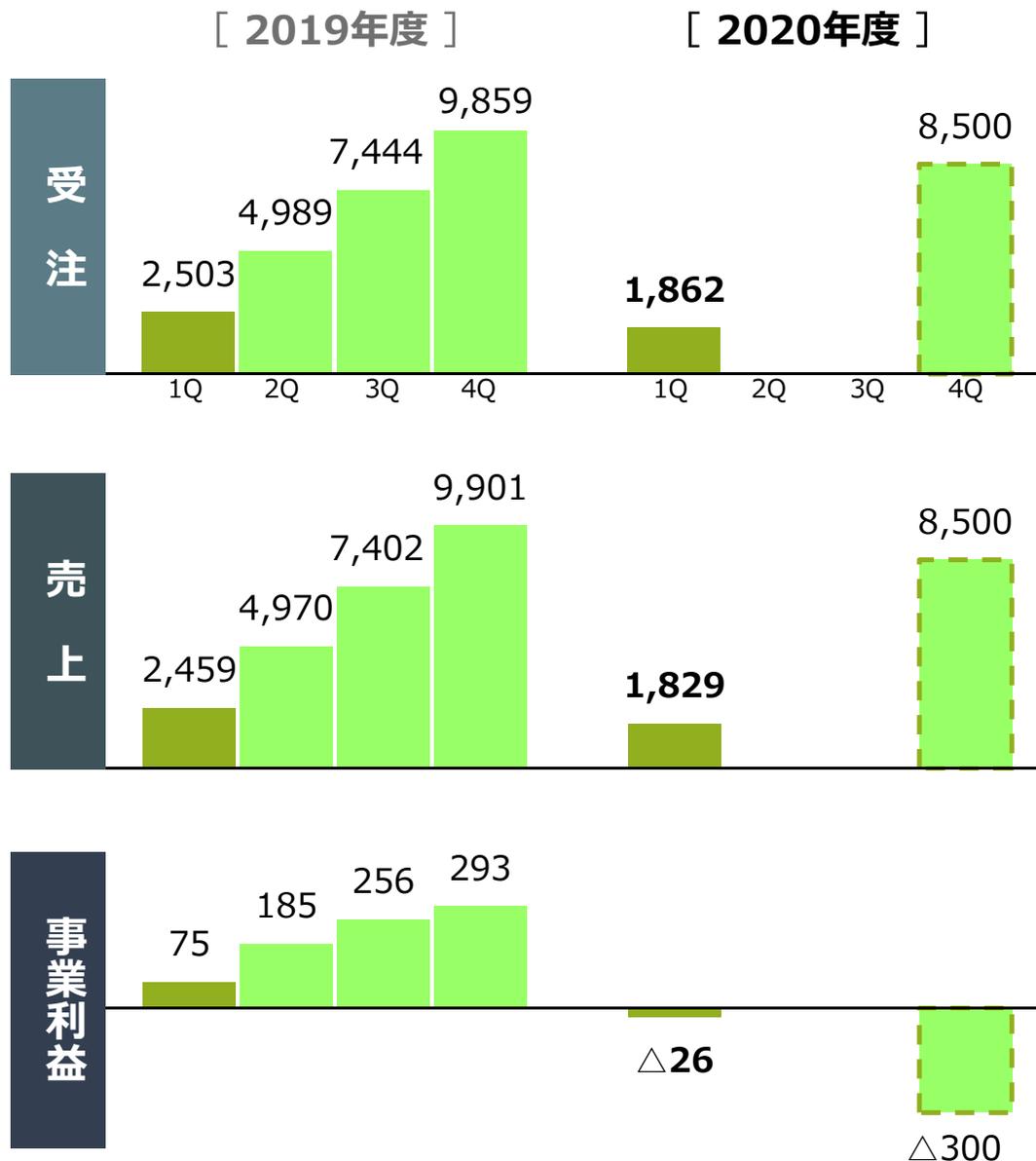
[2020年度]



- 期首時点では、新型コロナウイルス影響は軽微と想定していたが、一部の海外プロジェクトにおいて工事中断・工期延長が発生しており、状況をモニタリング中
- 工作機械の1Qの売上収益は、前年同期比約半減。固定費の適正化を推進中

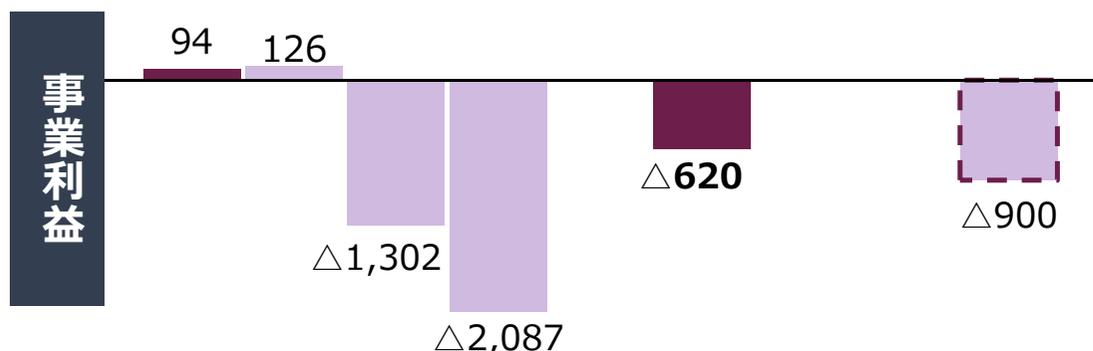
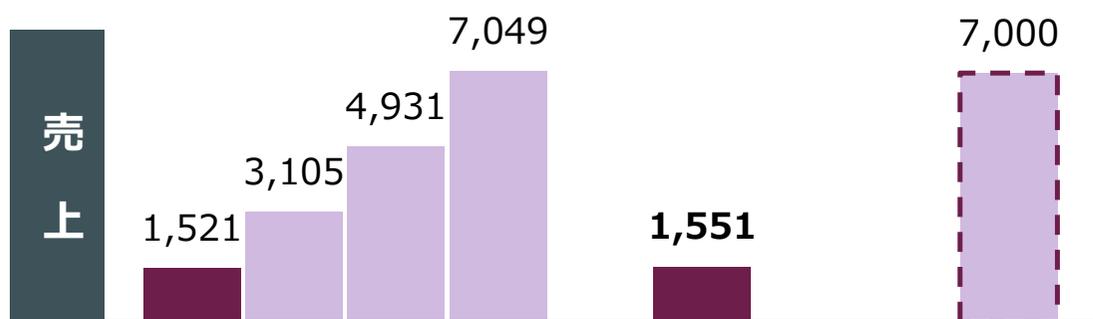
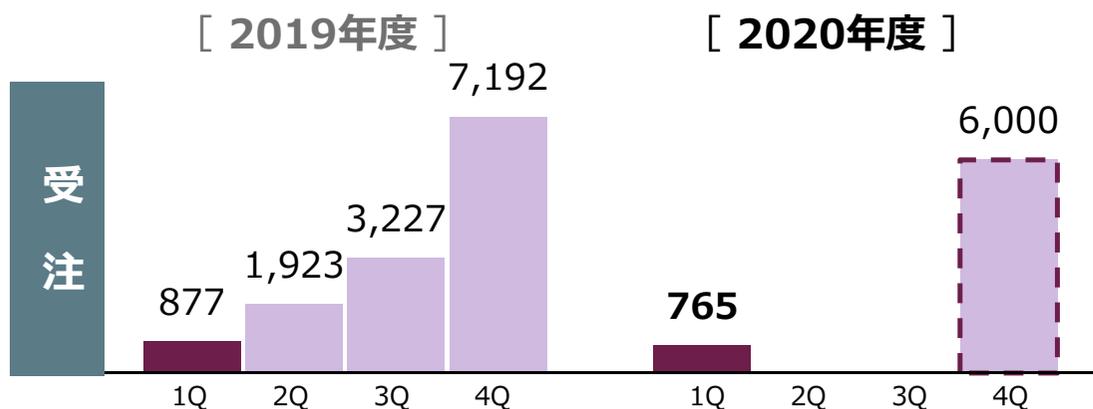
補足資料 第1四半期決算実績〈物流・冷熱・ドライブシステム〉

(億円・各期の数値は累計)



- 1Qの売上収益は前年同期比で約30%減。特に、自動車関連のターボチャージャとカーエアコンの影響が大きい。4月をボトムとして回復基調
- 固定費削減等の対策効果も現れ、1Qの事業利益は△26億円と、期首想定(通期見通し△300億円)を上回るレベルで推移

(億円・各期の数値は累計)



- 民間航空機構造Tier1の1Qの売上収益は、生産調整等を行った結果、前年同期比で約半減。通期では1Qがボトムと見込んでいるが、先行きの生産計画は変動リスクあり、引き続き操業調整や固定費削減を推進
- 防衛・宇宙は堅調を維持
- SpaceJet事業の損失（CRJ事業買収に伴って生じたのれんの減損を含む）は688億円

【SpaceJet 累計受注機数】（2020年6月30日現在）

287機（確定 163機、オプションおよび購入権 124機）

【B777/B777X 引渡機数】

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2019年度	16	14	13	11	54
2020年度	6	-	-	-	-

【B787 引渡機数】

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2019年度	43	42	38	43	166
2020年度	18	-	-	-	-

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'19年度 1Q	'20年度 1Q	(単位：億円) '20年度 見通し
研究開発費	273	283	1,400
減価償却費	308	342	1,400
設備投資	316	284	1,500

2. 販売費及び一般管理費

	'19年度 1Q	'20年度 1Q
販管費	1,348	1,304

(単位：億円)

3. 為替レート (売上計上平均レート)

	'19年度 1Q	'20年度 1Q
USDドル (円/USDドル)	110.9	107.4
ユーロ (円/ユーロ)	124.5	117.5

4. 海外地域別売上収益

	'19年度1Q	'20年度1Q
アジア	1,706 (19%)	1,258 (16%)
北米	1,777 (19%)	1,163 (15%)
欧州	873 (9%)	574 (7%)
中南米	341 (4%)	149 (2%)
中東	240 (3%)	123 (2%)
オセアニア	38 (0%)	38 (0%)
アフリカ	179 (2%)	118 (2%)
合計	5,158 (56%)	3,425 (44%)

(単位：億円)

MOVE THE WORLD FORWARD

mitsubishi
heavy
industries
group